

事業所名

ゆりのねこどもDayさぼーとⅡ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

24日

法人（事業所）理念		笑顔の絶えない穏やかな支援で機能向上を目指そう						
支援方針		外活動を軸として基礎的な体力、運動能力の向上、脳を活性化させ、認知能力も育み、よりよい生活をしていけるように支援を行う。個別療育においても、自立が出来るような支援を行う。						
営業時間		13時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	健康状態の維持が保てるよう、保護者様との伝達を密に行う。小さなサインなど変わった様子があれば、(湿疹がある・顔色チェックなど)体温を測ったり状況に応じて休憩をとるなど臨機応変に活動の制限をしていく。痙攣などを持っている方においては、保護者様から対応をお聞きしその流れをスタッフ間で周知しておく事でどんな状況でも対応出来るような体制を整える。音楽療育に関しては、音楽によって気分が明るくなったり前向きで元気になったり、そんな音楽の持つ特性を最大限に生かしたプログラムを作っている。						
	運動・感覚	野外活動では体を動かす動作が苦手な利用者様でも、散歩へ出掛けるなどスモールステップで始めて出来る事が増やせるような支援をする。製作活動は糊を紙に塗る・貼る・ちぎるなど指先を使った内容を考えていく。音楽療育では、いろいろな楽器を使うことで身体能力を向上させることができ、音楽とともに声を出したり、体を動かしたりすることによって、感情のある表情を出せるようにしている。また、お手玉やボールを使い、メロディーにあわせて投げるなど距離感覚やタイミング、空気を読むことを促している。						
	認知・行動	切り替えがスムーズに出来るよう、絵カードや時計などを用いて活動する内容を伝える。また、利用者様に応じて事前に当日の流れを伝え、デイで過ごす際やるべきことが明確になるよう伝えていく。音楽療育に関しては、様々な効果的手法を駆使して集中力、積極性、記憶力、反射能力、直観力を育てている。リトミックなどでは音を聴いて即時反応し認知能力を育てている。						
	言語 コミュニケーション	動作なども交え、発語を促せるように伝えていく。その際目を見て関わるようにする。音楽などを聴く中でスタッフも一緒に口ずさみ歌っていく事で声を出す事の楽しいという感覚が学べるように支援する。上手く発語が出来た際は、ハイタッチをしたり直接言葉で伝え自己肯定感を高める。音楽療育では集団で好きな曲を歌ったりすること、みんなで共有することで心の充足感や満足感につながり、コミュニケーション能力を育てている。また、メロディーに合わせてお返したり歌詞を歌うことで発語にも繋がらせている。						
	人間関係 社会性	お手伝いなどを通して、様々な学年の他児と関わりが広く持てるようにする。スタッフがお手伝いへの声かけを求めずとも、自ら年下の子を手伝ってあげたり片付けが出来るといった環境設定を行う。音楽療育に関しては、集団療育により他児とのやりとり、職員とのやりとりから人間関係を学ぶ機会を作っている。音楽プログラム内でのパネルシアターや音楽サーキットなどで順番を待つことができたり、リトミックなどをみんなで行うことで社会性を育てている。						
家族支援		ご家庭内でご利用者の事で悩みや相談があった際は、親身にお話を伺い少しでも解決へと繋げていけるよう努める。		移行支援		移行支援を行っている方には、保護者の方を通じて様子などをお聞きしデイでの支援に関連付けていく。		
地域支援・地域連携		野外活動などで近隣の方とコミュニケーションをとるようにしたり、地域の方々との交流を深めていく。		職員の質の向上		一職員が受けた研修などを、実際に他の職員へと研修という形をとりアウトプットしていき支援向上を目指す。		
主な行事等		節分、卒業式、七夕、ハロウィン、クリスマス 帰りの会や音楽療育で、利用者様の誕生日会のお時間を設ける。						